

Zoomセミナー

「企業/団体ができる気候変動対策 シナモン肥料で循環させる住民生産林/
カカオ豆のトレースで住民と森林を守るチョコレート」を実施しました！

標記セミナーを2024年3月12日に実施しました。本セミナーでは、JICA ベトナム持続的自然資源管理強化プロジェクト2の高橋渚チーフアドバイザー、地球環境戦略研究機関(IGES)の藤崎泰治主任研究員、また JIFPRO の事業(※)にて実証調査をした日本森林技術協会(JAFTA)と立花商店の担当者等が講演をしました。のべ 178 名の方にご視聴いただきました。



Zoomセミナーの様子



製造中の堆肥の山を混ぜる住民(ベトナム)

本事業では、途上国の森林資源を持続的に利用する際の課題を対処するために、日本の技術などのナレッジを使う実証調査を行っています。令和5年度はベトナムとガーナで実証をしました。

ベトナムでは、住民が周期的に皆伐して管理する北部のシナモン林における、土壌劣化の課題の対処をめざしました。日本で土壌改良資材として利用する「バーク堆肥」をヒントに、シナモンオイル抽出後の不要材を使って、住民と堆肥を作る実証調査をしました。住民は本堆肥の施肥を経て、シナモンの認証取得をすることを今後目指しています。

ガーナでは、カカオ生産を目的に保護区の森林が伐採されるリスクを扱いました。マッピングにより対象のカカオ生産地が保護区外と確認し、日本発祥の「QRコード」を使う流通のしくみを整備して、豆のトレーサビリティを確保する実証をしました。また、保護区外の豆を使う「森を守るチョコ」を試作し、カカオ生産者に日蔭樹の苗等を還元し、森林伐採をしないインセンティブを創出しました。製品の箱に印刷したQRコードの先では、生産地の情報などが見られるしくみにしました。

セミナーでは、高橋様のベトナムの森林やシナモン等の解説の後、ベトナムの実証調査の発表をしました。また、藤崎様より森林減少が進む中でのトレーサビリティの必要性、ガーナの森林などの解説後、ガーナの実証調査の発表をしました。講演資料はこちらで閲覧ができます。

<https://jifpro.or.jp/infomation/21713/>

(※)「令和5年度 途上国森林ナレッジ活用促進事業」(林野庁の補助事業)

★ガーナの事例の成果は JICA のサステナブル・カカオ・プラットフォームの年次報告書(P8)にも掲載しています。www.jica.go.jp/information/press/2024/20240423_41.html

★「堆肥作成マニュアル」を事業サイトの「バーク堆肥」内に掲載しました(ベトナム事例作成)
bit.ly/4bkPKdj

*「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。



左：袋毎にQRタグをつけ、豆の産地をトレースできる
中：箱裏のQR(→)で豆産地情報等が見えるチョコ
右：カカオを守るシェードツリーの苗



熱帯林造成基金活動報告（ベトナム）

熱帯途上国の荒廃地の緑化を図るために、JIFPRO は1992年に「熱帯林造成基金」を設立し、企業や個人の皆様からいただいた寄付金をもとに東南アジア諸国で森林造成事業を実施しています。

2023年度は、ベトナム北部の少数民族が居住するラオカイ省の山間地域の荒廃地・耕作放棄地にシナモン（シナニッケイ、*Cinnamomum cassia*）を107,445本植栽しました。植林面積は16ヘクタールです。この植林は、表土流亡の防止（林地の保全）、水資源の保全、森林被覆の増加等現地の環境保全に寄与するだけでなく、植栽したシナモンの幹や枝の皮をはぎ取り乾燥したものをスパイスのシナモンとして主に中国・ヨーロッパに輸出しており、農家の貴重な収入源となるため、地域住民の生計向上にも貢献します。



植栽から1か月後のモニタリングの様子

木材生産を目的とした森林造成では1haあたりの植栽本数は750～2000本/ha程度（土壌や立地条件によって異なる）ですが、本プロジェクトでは1haあたり6500本の苗木を植栽しており、土壌の保全とシナモンの商品価値の向上のために密植を選択しています。4年後に間伐を行い（間伐木の葉や枝からエッセンシャルオイルを抽出して販売することもある）、更に10年後には外樹皮をシナモンとして収穫し、現金化します。その後、得られた収益をもとに、森林を継続的に造成していくことになります。

この植林プロジェクトに参加した農家は18世帯。現地の農民は体系的に植林技術を学んだことがほとんどないため、事前に植林地の準備、苗木の植え方、育て方、肥料の正しい使い方についての研修を受けました。2023年12月に農家ごとに割り当てられている土地で植樹を行い、1月に専門家によるモニタリングが行われ、生存率は86.7%でした。



シナモンとキャッサバを見守る農民

ご支援へのお礼

令和5年度のJIFPROへの熱帯林造成のためのご寄付の総額は約1267万円となりました。企業の皆様やSyncable（ネット募金）を通じたご寄付、カタログギフトを通じたご寄付、更に銀行口座への直接のお振込みなど、本当に多くの皆様からご支援をいただきました。こうした皆様からのご支援をもとに令和5年度はベトナムとカンボジアで植林を実施しております。この場をお借りして、お礼を申し上げますとともにこれからもJIFPROは熱帯林を保全する活動に積極的に取り組むこととお約束いたします。



JIFPRO newsletter Vol.11 令和6年7月1日発行

編集・発行 / 公益財団法人 国際緑化推進センター 〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル5階

電話: 03-5689-3450 FAX: 03-5689-3360 E-mail: jifpro@jifpro.or.jp/ URL: <https://jifpro.or.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/JIFPRO/>